

一里塚 無所属 田村栄子

久喜市議会議員

第41号

久喜市議会
会派フェニックス

連絡所〒349-1117 久喜市南栗橋 5-11-7 TEL 0480-52-8240 FAX 0480-55-1124
https://ameblo.jp/tamura-eiko-kuki/ http://tamura-ek2.matrix.jp/



田村栄子
久喜市議会議員
総務財政市民常任委員、
予算決算常任委員、議会
広報委員、情報コミュニティ
ケーション（ICT）委員
静夜里館の会長



今年春の中学生により接ぎ木
された苗の静夜。すくすくと
育っています。2019.7.22



下は昨年
接ぎ木し、
移植後半
年の静夜
です。

台風や水害の多い時期になりました

異常気象により河川氾濫の洪水やゲリラ豪雨等による内水氾濫の水害
がいつ起こることも限りません。命を守るため、逃げるタイミング・自分の
逃げ方を確保して、遠方への早い避難を！！

大規模災害時には久喜市、自衛隊、国など公けの助けはすぐには
難しいと言われています。このため、まず「自分の命を自分で守る」
が原則になります。久喜市ハザードマップ新版において災害（洪水）時、
市からの避難情報を基にした避難など身の安全行動が記されており、
安全の拠り所となります。

しかし、そうは言っても、これは自分での確に判断する必要があり、
避難情報・関連情報収集、判断の知識習得、いつどこに逃げるかの
自分の行動計画（マイタイムライン）の立案作成、避難訓練など今後の
課題があると考えられます。ハザードマップを使用にこそ重要で
市による啓発、よりの確な洪水浸水予測情報の市民隅々までの提供
等これからの課題と考えられ、市議会一般質問で今後も取り上げて行きたいと思ひます。裏面に関連記事



雨後の利根川(2015.6写真)

済生会栗橋病院移転問題

済生会栗橋病院の加須市への移転決定で、残された栗橋地区の医療体制については未解決で大きな不安が残ります。住民が少なくとも必要としている外来診療科の集約、一次救急等がどう進むのか未だに明確な回答を得ることができていません。なんらかの形で現在地での医療継続ができることが必要で、引き続き市から済生会側に栗橋地区の医療問題の解決に向けて協議を強く望みます。済生会が完全撤退なら住民ニーズに対応した新診療所誘致、跡地利用、事業者との交渉等今後の積極的展開が必要です。

新学校給食センター建設に向けて準備中。

久喜市内小中学校の給食12000食分を賄う

東京理科大学跡地に建設予定の新学校給食センターは、予算上は6月議会（議会議案第42号 令和元年久喜市一般会計補正予算第2号）にて承認されました。9月議会で請負契約が承認されれば工事開始となり、工期は約



当初予定の18ヵ月から延びて23ヵ月の予定です。
東京オリンピックの労働力影響や特殊部品不足が原因、令和3年2学期から給食提供が始まる予定です。
◎新学校給食センターは児童生徒全人数を賄える12000食です。小中学生の合計は約11000人、教職員は約1000人あわせて12000人。栗橋西小、栗橋小は自校式給食室が配膳室に改修される予定です。

豊田ふるさと祭り 盛大におこなわる

News

今年も花火が無事ありました
-子どもと地域の人々の幸福安全を願って-

台風も心配され風もありましたが、7月27日無事開催され花火も空いっぱい
ありました。ドイツから独逸スポーツ少年交流の12人が来て観戦していました。
南栗橋音頭・栗橋音頭の盆おどり版東太鼓・そのほか地元芸能が披露され、
大勢の人が楽しめました。場所:豊田コミュニティプラザ・近隣公園。



子どももこし

新市基本計画が変更されました。

新久喜市誕生のときに合併協議会で作られた「新市基本計画」が
変更され、期間が10年延長され平成21年～令和11年度までの20年間と
なりました。主な変更点:和暦の併記、財政計画も10年延長し2018
～2029は推計値とする。地方税等は過去の実績、今後の経済見通し等
を考慮し推計、等です。本計画は基本的に、次世代に誇りをもちて継
承できる、住民が安心して暮らせるまちづくりの実現への取り組みを示し
ています。

プレミアム付き商品券

25%のプレミアム付で国財源の①と久喜市・久喜市商工
会発行の②との2種類あります。②は8/2で締切りご注意。

① 久喜市プレミアム付商品券

対象:3歳未満のいる世帯、または住民税非課税世帯。
購入引換券が送られてきます。引換券で10/1より半年
以内購入可。久喜市内で2万7900人が対象です。

② 久喜市合併10周年記念プレミアム付商品券

対象:久喜市住民 7/1～8/2までにハガキ申込み。抽選
の上、当選者が商品券を購入可。
以上詳細は広報久喜7月号とその付属資料ご参照。

道路が木の根で膨れ上がる

通学路が樹木の根でレンガ状ブロックが浮き
上がり、歩くのが難しくなりましたが、久喜
市がすぐ対応、補修が行われています。



南栗橋4丁目近通学路



「令和」の新しい年、市はいままでの諸問題の膿を出し切り未来への発展に繋げて欲しい。

暮らしと政治を結びます！

裏面に関連記事と
議会質問があります。



田村栄子の議会質問

一部抜粋 構成

議会では、毎回皆様の声を代弁して質問しています。市民の元氣につながる質問をしていきたいと考えます。「こんなこと聞いて欲しい」という方はお知らせ下さい。



令和元年(2019)年6月議会は6月3日～6月28日に行われました。田村栄子の質問(6/7)と市の回答の概要です。

済生会栗橋病院の移転問題 - 現在地での医療体制の今後は -

問 現病院の加須市への移転後の栗橋地区の医療が手薄になる。移転後も住民が通える各科診療所・一次救急の開設・誘致が必要である。栗橋地区の医療継続に向けたその後の久喜市の済生会栗橋病院側との協議の進捗状況を伺う。積極的対応を求める。

答 済生会栗橋病院との意見交換はほぼ毎月行っている。栗橋地区での医療継続の要望は毎回病院側に伝えている。済生会病院の加須市移転の説明は「市民から説明の要望があったら真摯に対応する」との病院回答があった。

◎済生会栗橋病院のその後の進捗状況が未だに明確な回答を得ることができない。公文書館の同病院側と久喜市側の協議内容資料を記録した資料によると現状概略は次のようである：病院側は栗橋地区の医療の今後も配慮、シミュレーション等を行い色々なケースで検討している。経営の課題もありすぐには結論は出せないようでこれからも検討していく姿勢にある。久喜市からの要望に対しては支援をお願いしたい旨の発言内容がある。(意見)意見交換時に地域包括ケア病床導入も要望してほしい。

小中学校教員の残業時間の問題

問 久喜市内の小中学校教員の残業時間は月約50～70時間と多い。長時間残業の原因について前回2月議会で回答があった＊)。その後の改善状況はどうか。対策の一つとしての事務作業の効率化の構想・計画は、また教科担任制の導入は、教員免許の要らない業務での教師以外の協力者の考えはどうか。

答 事務作業の効率化の一つとして「校務支援ソフト」の活用、出張の代わりに「ウェブ会議」の活用等で時間外勤務の削減に努める。教科担任制の導入は教師の数が多く必要となり現実には無理。教師外の業務分担は「通学路のバトロール」としてスクールガードリーダー「学校応援団」等の保護者や地住民の協力を得ている。

＊) 長時間残業の主要原因：授業時間数の増加と準備時間・学習指導・成績処理時間の増加、2) 授業外業務：安全確保・保護者対応等の増加、3) 中学校の部活動時間増加。これらと併せ事務作業時間の増加。

児童・生徒の交通安全

問 最近全国的に子どもの交通被害事故が多い。通学中的子どもたちを事故から守るため、通学路の安全確保は十分か。市道・県道のガードレールの設置は適正に行われているか。安全のため小学生にもヘルメットの着用は必要ではないか。

答 ガードレールの設置の有無は通学路安全検討委員会が通学路整備計画に則って必要に応じて実施されている。ヘルメット着用は徒歩通学の小学生にも安全対策上有効な手段の一つと考えられるので、各学校で検討してもらうよう校長会で話をする。

通学路・歩道の安全

問 南栗橋地区の歩道の凸凹が酷くなっている。街路樹の根が生長し張り出して、歩道のレンガブロックを持ち上げている。通学路も含まれ今後の対策を問う。

答 速やかに補修等を行う。植樹後概ね20年以上経過すると根が張りだし舗装を持ち上げる原因になることがある。引き続きバトロールを実施する。

結果：夏休目直前に南栗橋4丁目の歩道の修理が始まりました。

防災一自分で判断し行動する防災訓練が必要

「自分の命は自分で守る」として新ハザードマップに書かれている。他方、地区によって状況が違い自分の命を守る避難対応の仕方が違うはず。そこで、現実的に即し住民が住んでいる地区の特性を考慮し自発的に自分の避難訓練の計画をつくり行動する訓練がこれから必要ではないか。さらに画一的な訓練ではなく自治会毎に計画を作った総合訓練が必要ではないか。＊と取組では実施中。これらを背景に次の質問をしました。

問 1) 住民が自発的に考えて各地区の特性を考え行動する訓練が必要ではないか

2) ハザードマップを利用し警戒情報(市からの避難情報等)を基に自分の計画で避難する訓練が必要ではないか。

3) 車いすや足(脚)の不自由な人、目や耳の不自由な人達が参加する訓練が必要ではないか。

4) 市内一斉(ゴミゼロクリーン作戦のように市内全域)の防災訓練も必要ではないか。

答 本年4月配布のハザードマップには、命の危険を感じたら迷うことなく自主的に避難行動をとることや、災害の時に落ち着いて避難行動ができるように日ごろから十分な訓練をしておくこと、本市や自主防災組織等が開催する防災訓練に積極的に参加するように記載している。ハザードマップを活用して各自が避難所を確認し、自宅から自分の足でどの位時間がかかるかの確認し、訓練に生かすよう周知、啓発していく。本市の総合防災訓練は障害者の要配慮者にも参加を呼び掛け、実施している。要配慮者に配慮した避難誘導訓練及び避難所運営訓練に参加していただき、土曜作体験をしていただいている。本市は、合併後4地区それぞれに会場を設け、同日に一斉に実施してきた。本年度は体育館で実施訓練を主体とし、雨天でも実施でも実施できる工夫をし5会場8月31日に開催予定。(意見)現段階ではまだハザードマップができたところで十分な答えは頂いていませんのでこれからも議会一般質問で取上げていきます。